



久々の金城山

越後 金城山（観音山コース）

佐貫

【日時】 2009年2月21日（土）～22日（日）

【メンバー】 L栗原、棚橋、佐貫

今年は本当に雪が少ない。藪雪稜に行こうにも、夏道のない標高の低い尾根はただの藪漕ぎになるのが目に見えていて悲しい。この週末は、金城山の尾根のうちなぜか残ってしまっていた水無道を目指すつもりだったが、よりによって週末に悪天のサイクルが来てしまった。塩沢駅前で車中泊し、起きてみると相変わらず天気は悪い。強風の上、前週の雨で固まった雪面の上にまとまった雪が降っているとあって、リーダーより水無道は断念しサブルートで観音山コースに変更したいとの提案があり、残念ながら水無道はまた宿題となった。枝吉の集落で、除雪をしていた地元の方に車をとめさせてもらい、小さな鳥居のある登山口から登りだす。全く雪がないところにこの2日間で降ったような感じで、夏道もはっきりと分かる。道標はなぜかブルーシートで覆われている。天気も回復してきて薄日も射し、長崎尾根など周辺もよく見えた。今シーズン、登場頻度の高いスノーシューで快適に進む。

大月ルートと合流してからは尾根がやや細く急になり、梯子坂と呼ばれる鎖がついているあたりでアイゼンに履き替えた。急登は一旦終わり、再びラッセルが続きそうだったのでスノーシューに戻すが、所々急でクラスト気味の箇所もあり、頂稜直下で再びアイゼンに替える。今回は、アイゼンにするとどういいうわけかラッセルになり潜りまくりだ。腰あたりまで埋まって進めず、スノーシューにしたいとは思いますが、すぐ上でどうせアイゼンに替える必要が出てくるので「このまま行っちゃえ」と、栗原さんが得意の四つ足ラッセルでしのいだ。兎平からの頂上岩壁はいつ見ても迫力十分だ。ここからのトラバースは雪が少ないために何箇所かで踏み抜いて穴にはまったりしながら進んだ。地形的なものか、予想よりも埋まっていた避難小屋で泊まる。

日曜は朝から穏やかな晴れ。山頂からは懐かしい巻機への稜線が一望できる。時間が早くてご来光は拝めなかったが、眺めに満足して下山にかかった。いつもの金城の里（温泉）に寄り、とん吉で食事をして帰京。水無道には、そのうち女子Pで再挑戦かなあ。

【行程】

2/21 枝吉集落入山口（7:50）－ 避難小屋（15:40）

2/22 出発（5:50）－ 山頂（6:00）－ 枝吉集落（9:30）

【地形図】 六日町



裏巻機は白かった

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>